

広島市水道事業中期経営計画に係る実績について 平成28年度(2016年度)

1 はじめに

広島市水道事業中期経営計画(以下「中期経営計画」)は、平成26年度(2014年度)～平成29年度(2017年度)における具体的な事業運営の内容を取りまとめたものです。

この中期経営計画に掲げる主要施策、経営の効率化、財政収支計画などについて、平成28年度(2016年度)の実績を取りまとめました。

2 主要施策

本市水道事業では、「安全でおいしい水の供給」、「基幹施設の更新・改良」、「災害対策の充実」を主要施策として掲げ、計画的な施設整備を推進しています。

中期経営計画期間4か年の計画額361億3,065万円に対して、平成28年度(2016年度)の実績は66億6,435万円、平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)までの累計額は185億4,429万円であり、進捗率は51.3パーセントとなっています。

主な施設整備の内容は、次のとおりです。

(1) 安全でおいしい水の供給

水道水源の保全として水源かん養林の整備や啓発活動を行うとともに、環境負荷の低減として漏水防止調査等を行いました。

また、水質管理体制の強化として水質検査機器、残留塩素計の整備及び浄水場内監視設備の整備等を行うとともに、安心な水道の普及促進として2,499メートルの配水管布設を行いました。

【水質検査機器の整備
 (ガスクロマトグラフ質量分析計)】



(2) 基幹施設の更新・改良

取水・浄水・配水施設の更新・改良として施設の統廃合の関連整備や中央監視制御装置の更新等を行いました。

また、配水管路の更新として、配水管の折損事故等を未然に防止するため、26,351メートルの鋳鉄管・ビニル管等の更新を行いました。

【機械及び電気設備の更新・改良
 (高陽浄水場中央監視制御装置)】



(3) 災害対策の充実

施設の耐震化を図るため調整池の耐震補強設計業務等を行いました。

また、バックアップ機能の強化として相互連絡管の整備等を行うとともに、応急給水対策の推進として緊急時給水車専用水栓等の応急給水用資器材の整備等を行いました。

なお、上記(2)の基幹施設の更新・改良のうち、配水管路の更新についても耐震性の向上を伴う事業であり、災害対策につながるものです。

【応急給水対策の推進 (緊急時給水車専用水栓)】



3 経営の効率化

平成28年度(2016年度)の実績は4億97万円であり、取組内容は下表のとおりです。

なお、平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)までの累積額は13億6,352万円であり、中期経営計画期間4か年の削減額等20億4,833万円に対する進捗率は66.6パーセントとなっています。

項 目	削減額等 (平成28年度)		主な内容
	億	万円	
1 人件費の削減		6644	事務事業の見直しによる職員数の削減
2 経費の削減・収入の確保	3	3453	
(1) 工事費の削減		3514	管路のダウンサイジング(減口径)
(2) 維持管理費の削減	2	9327	受水量の見直し、督促徴収業務の見直し等
(3) 収入の確保		612	未利用地の売却
合 計	4	0097	

4 財政収支計画

平成28年度(2016年度)について、財政収支計画と決算額の比較は下表のとおりです。

今後とも、財政収支計画の執行管理を徹底することで、平成29年度末(2017年度末)に予定する資金残高約41億円を確保し、計画的な事業経営を推進していきます。

区 分	平成28年度				差引増(△)減 (A) - (B)
	財政収支計画		決算額		
	事業費(A)	構成比	事業費(B)	構成比	(A) - (B)
収益的収入	253 1951	100.0	259 9626	100.0	△ 6 7675
給水収益	197 8465	78.1	206 7947	79.5	△ 8 9482
その他	55 3486	21.9	53 1679	20.5	2 1807
収益的支出	236 9032	100.0	236 3334	100.0	5698
人件費	52 0912	22.0	50 9046	21.5	1 1866
維持管理費	85 5713	36.1	88 1046	37.3	△ 2 5333
減価償却費	81 3093	34.3	81 3687	34.4	△ 594
支払利息	17 9314	7.6	15 9555	6.8	1 9759
収益的収支差引(純損益)	16 2919	—	23 6291	—	△ 7 3372
資本的収入	67 8459	100.0	41 9871	100.0	25 8588
企業債	58 0650	85.6	36 1580	86.1	21 9070
その他	9 7809	14.4	5 8291	13.9	3 9518
資本的支出	153 8798	100.0	126 6576	100.0	27 2222
建設改良費等	95 1573	61.8	69 5754	54.9	25 5819
元金償還金	58 7225	38.2	57 0822	45.1	1 6403
資本的収支差引	△ 86 0339	—	△ 84 6705	—	△ 1 3634
損益勘定留保資金等	66 0905	—	68 2552	—	△ 2 1647
利益剰余金	19 9434	—	16 4153	—	3 5281
資金残高	47 7827	—	78 5276	—	△ 30 7449
企業債残高	813 3555	—	743 8895	—	69 4660

注 1万円未満の端数を四捨五入しているため、内訳と合計(差引)が一致しない場合がある。

5 目標管理

平成28年度末(2016年度末)における目標管理の達成状況は、下表のとおりです。
引き続き、目標の達成に向けて、中期経営計画に掲げる取組を着実に推進します。

項 目	算定方法等	平成28年度末【実績】 (2016年度末)	平成29年度末【目標】 (2017年度末)
1 安全でおいしい水の供給			
水質基準適合率	水質基準適合回数 ÷全検査回数×100	100.0%	100.0%
普及率 (水道施設整備率)	給水人口(給水可能人口) ÷給水区域内人口×100	98.0% (99.6%)	98.0% (99.6%)
2 基幹施設の更新・改良			
施設の更新か所数	中期経営計画期間に更新 が完了した施設のか所数	2か所	14か所
管路の更新延長数	中期経営計画期間に更新 が完了した管路の延長数	78km (平均26km/年)	104km (平均26km/年)
3 災害対策の充実			
配水池の耐震化率	耐震対策を施した配水池 容量÷配水池総容量×100	72.3%	59.9%
管路の耐震化率	耐震管延長÷管路総延長 ×100	25.8%	27.4%
4 財務体質の強化			
企業債残高	年度末の企業債残高	744億円	811億円
料金収納率	年度末の収入金額 ÷年度末の調定金額×100	97.8%	97.8%
5 環境にやさしい水道の推進			
再生可能エネルギー によるCO ₂ 削減量	再生可能エネルギー発電量 ×CO ₂ 排出係数	0.2t/年	550.0t/年
漏水率	年間漏水量÷年間給水量 ×100	3.1%	2.6%